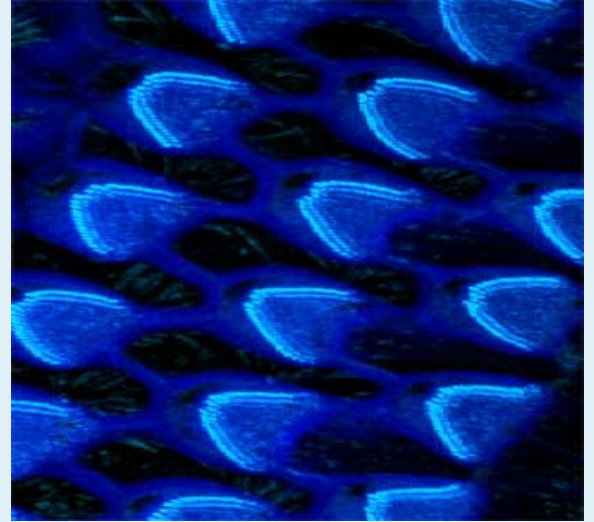


# 再生医療の実用化に関する ニーズ発表会



内耳再生医療の現状と課題  
京都大学大学院医学研究科  
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学  
助教 北尻真一郎 先生

感音難聴は20%を越える有病率の、もっとも頻度の高い身体障害であるにも関わらず、現時点では根本的な治療法がない。われわれは遺伝子導入や薬剤局所投与、自己由来幹細胞などを用いて内耳再生を試みており、一部は臨床試験を開始している。本講演ではその現状と課題について考察する。



- 日時：平成22年10月22日(金) 14:00～17:00
- 会場：神戸臨床研究情報センター (TRI) 第2・3研修室
- 主催：財団法人 先端医療振興財団
- プログラム：

14:00 - 14:10 挨拶 京都大学再生医科学研究所 教授 岩田 博夫 先生

14:10 - 14:25 講演①「新しい創傷治療マゴットセラピー —その臨床導入と事業化の現状—」  
(株)バイオセラピーメディカル 代表取締役社長 高瀬仁志先生

14:25 - 15:10 講演②「内耳再生医療の現状と課題」  
京都大学大学院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 助教 北尻真一郎先生

15:10 - 15:55 講演③ 「生体第二の肝臓作成に向けた戦略」  
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 准教授 大橋一夫 先生

15:55 - 16:45 講演者との個別懇談

●お申込 下記いずれかの方法にて、  
財団法人 先端医療振興財団・岡までお申し込みください。

- ①メール：t-oka@fbri.org ②FAX: 078-306-0752
- ③電話：078-306-0719

主催：財団法人 先端医療振興財団

後援：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議  
関西ティッシュエンジニアリングイニシアチブ  
神戸市

※本発表会は、近畿経済産業局からの地域企業立地促進等事業により行います。

Introduction 2

1 3



Photo by Harald Knapp

新しい創傷治療マゴットセラピー  
—その臨床導入と事業化の現状—  
(株)バイオセラピーメディカル 代表取締役社長  
高瀬仁志先生

糖尿病性壊疽をはじめとする難治性創傷に対する新しい治療として注目されるマゴットセラピー（医療用ウジ治療）。2004年に日本でも臨床の現場に導入され普及の兆しを見せてはいるが、一方でいくつかの課題も認められる。その現状と将来への展望を報告する。

生体第二の肝臓作製に向けた戦略  
東京女子医科大学 先端生命医科学研究所  
准教授 大橋一夫 先生



生命維持において重要な働きを担う肝臓。”生物が持つ肝臓は1つ”というドグマから抜け出して、如何にすれば2つめの肝臓が創れるか。本講演では、ギリシャ神話から語られる肝臓の再生現象を新たな視点から見つめながら、肝臓創生の道のりと生体内に2つ肝臓がある意義について皆さんと討論したい。

# 再生医療の実用化に関するニーズ発表会 参加申込書



平成22年10月22日（金） 14:00～17:00

参加申込

送付先 (FAX) : 078-306-0752

お名前

貴社名

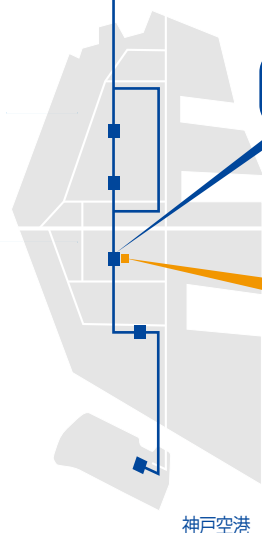
ご所属

お電話

E-mail

## アクセス

ポートライナー  
(至三宮)



「先端医療センター前」駅

会場

神戸臨床研究  
情報センター  
(TRI)

神戸空港

○三宮から（約12分）

ポートライナー「三宮」駅から  
「神戸空港行き」に乗車し、  
「先端医療センター前」駅で下車、  
改札を出て右手（東側）すぐ

○神戸空港から（約6分）

ポートライナー「神戸空港」駅から  
「三宮方面行き」に乗車し、  
「先端医療センター前」駅で下車、  
改札を出て右手（東側）すぐ

お問い合わせ

財団法人 先端医療振興財団  
クラスター推進センター・岡

TEL:078-306-0710

FAX:078-306-0752

e-mail: t-oka@fbri.org